

1 沿革の概要

安政2年(1855)	福井藩校 明道館 を城内三ノ丸(現大手2丁目)に創設する。
明治2年(1869)	明新館 と改称し、城内御本丸に移転する。
明治6年	福井私立福井中学と改称する。
明治7年	福井明新中学 と改称する。
明治15年	福井県福井中学校 として発足する。
明治22年	福井県尋常中学校と改称し、女子部を併設する。
明治25年	女子部が独立し、 福井県高等女学校 として佐佳枝上町に開校する。
明治30年	福井県福井尋常中学校と改称する。
明治32年	福井県福井中学校と改称する。福井県高等女学校校舎を宝永町に移転する。
明治34年	福井県立福井中学校、福井県立福井高等女学校と改称する。
明治39年	「明新会」(同窓会)が発足する。
昭和5年(1930)	福井県立福井高等女学校校舎を和田村勝見(現御幸2丁目)に移転する。
昭和8年	福井県立福井中学校校舎が焼失する。
昭和11年	福井県立福井中学校校舎を 牧ノ島 (現在地)に移転する。
昭和20年	福井県立福井高等女学校校舎が戦災によって焼失する。
昭和23年	学制改革に伴い、福井県立福井中学校と福井県立福井高等女学校を統合して、 福井県立福井第一高等学校 として発足する。通信制課程を併設する。校章を制定する。福井地震によって校舎が倒壊する。
昭和24年	福井県立福井第一高等学校と福井県立福井第二高等学校工業課程を統合して、 福井県藤島高等学校 と改称する。加藤佐助が初代校長となる。
昭和26年	P T Aライブラリー(図書館)が竣工する。
昭和29年	水上豊が第2代校長となる。
昭和31年	創立100年祭を挙げる。校歌を制定し、「福井県藤島高等学校百年史」を発刊する。
昭和32年	福井県立藤島高等学校 と改称する。安藤健二が第3代校長となる。
	工業課程が独立し、福井県立福井工業高等学校として山奥町に開校する。
	本館(現1号館)が竣工する。片山一夫が第4代校長となる。
昭和36年	プールが竣工する。
昭和39年	体育館(現第1体育館)が竣工する。西島銀蔵が第5代校長となる。
昭和41年	新嶺会館が竣工する。
昭和42年	住居表示改正によって、福井市文京2丁目8番30号となる。
昭和43年	大森陽が第6代校長となる。
昭和44年	通信制課程が福井県立道守高等学校へ移管される。
昭和46年	中央校舎(現2号館)が竣工する。
昭和47年	3・4号館が完成し、全校舎竣工式を挙げる。小林郁夫が第7代校長となる。
昭和50年	西谷寿道が第8代校長となる。中庭の造園が完成する。
昭和52年	藤島・高志学校群選抜制度による初の高等学校入学者選択を実施する。
昭和55年	野阪忠善が第9代校長となる。
昭和56年	道下賢成が第10代校長となる。
昭和58年	第2体育館、武道場、弓道場が竣工する。
昭和60年	足利正臣が第11代校長となる。
昭和61年	図書館、体育館付属教棟が竣工する。
昭和62年	東哲郎が第12代校長となる。創立130周年記念式典を挙げる、「百三十年史」を発刊する。
昭和63年	西正門が改築される。
平成元年(1989)	竹村光雄が第13代校長となる。運動部部室が竣工する。
平成2年	1号館のリフレッシュ工事とともに、東門の改築およびカラー舗装工事を行う。
平成3年	森茂が第14代校長となる。
平成4年	齋藤實が第15代校長となる。第1体育館のリフレッシュ工事とともに、弓道場横に運動部部室6室を新築し、プールの全面改築を行う。
平成6年	グラウンドの全面改修工事を行い、併せてバックネット改修工事を行う。
平成7年	小川英雄が第16代校長となる。
平成8年	2号館のリフレッシュ・耐震補強工事を行う。
平成10年	和田周平が第17代校長となる。
平成11年	田中完一が第18代校長となる。
平成14年	長谷川義治が第19代校長となる。
平成16年	普通科の学区制が廃止され、同時に藤島・高志学校群選抜制度も解消される。
平成18年	吉田五衛が第20代校長となる。
	創立150周年記念会館「新嶺会館」が竣工する。創立150周年記念式典を挙げる、「創立百五十周年記念誌・写真集」を発刊する。
平成20年	赤澤孝が第21代校長となる。
	3・4号館のリフレッシュ・耐震補強工事を行う。
平成21年	太田和紀が第22代校長となる。
	1号館の耐震補強工事を行う。
平成22年	第1体育館の耐震補強工事を行う。
平成23年	小和田和義が第23代校長となる。
平成24年	堀康子が第24代校長となる。
平成26年	佐々木栄秀が第25代校長となる。
平成28年	田中幸治が第26代校長となる。
令和2年	松田透が第27代校長となる。